

**令和6年度 部局経営目標**

年度	令和6年度	作成日	令和6年4月1日
部局名	健康福祉部	部局長名	樋口 竜悟
(1) 部局の役割・使命 (ミッション)			
<p><b>1切れ目のない こども・子育て支援体制の充実【No.4:質の高い教育をみんなに】【No.11:住み続けられるまちづくりを】</b>          妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない相談支援体制の充実、幼児教育・保育環境の充実を図り、安心して子育てができ、こどもが健やかに育つ環境整備を推進します。</p> <p><b>2「共生社会まにわ」、「ジェンダー平等社会」の形成推進【No.3:すべての人に健康と福祉を】</b>          全ての人々が尊重され、平和で明るく住みよいまちに向けて、「真庭市共生社会推進基本方針」に基づく地域福祉の一層の充実や誰もが社会に参加できる環境、市民活動を相互に検証する仕組みづくりなどに市民とともに取り組み、さらに人権教育・啓発、男女平等意識の醸成等に努めます。</p> <p><b>3心身の健康づくり【No.3:すべての人に健康と福祉を】</b>          医療体制の充実や、生活習慣病の予防、自殺予防に努め、心身の健康づくりを推進し、市民の生活の質（QOL）の向上を図ります。</p> <p><b>4社会福祉の推進【No.17:パートナーシップで目標を達成しよう】</b>          障がいのある人や家族が抱える様々な問題を解決する仕組みとして、地域の相談支援体制の充実に取り組みます。</p> <p><b>5介護予防と健康づくり【No.3:すべての人に健康と福祉を】</b>          「集いの場」を核として、介護予防活動、生きがい活動等を推進し、介護保険認定率の上昇を抑え、いくつになってもいきいき暮らせるまちを目指します。</p> <p><b>6地域包括ケア体制の充実【No.17:パートナーシップで目標を達成しよう】</b>          地域の課題を把握し、その解決策を導き出し、住み慣れた地域で継続して生活できるよう支援します。</p>			
(2) 部局の重点施策			
<p><b>1 地域みんなで子育てを応援する「こどもはぐくみ応援プロジェクト」</b></p> <p><b>2 自分らしく暮らせる「共生の地域社会まにわ」の実現</b></p>	<p>(1) こどもはぐくみ応援プロジェクト推進</p> <p>(1) 包括的相談体制、重層的支援体制の整備に向けた相談支援記録のデジタル化による一元管理とデータベース化推進</p> <p>(2) 障がいへの理解促進、トータルライフ支援</p> <p>(3) 心身の健康づくり（健康づくり行動のポイント化、インセンティブ付与）</p> <p>(4) 権利擁護の推進（認知症の正しい理解促進、市民後見人養成）</p> <p>(5) エssenシャルワーカー確保推進</p> <p>(6) 福祉dXの推進による相談支援体制の強化</p>		

(3) 事業成果目標	指標名及び目標値
<p><b>●人口減少抑制対策</b>  <b>子育て支援の推進【再掲】</b>  「真庭市に生まれ、真庭市で暮らす全ての子どもたちが、将来にわたって幸福な人生を送ることができるまち」、「子どもを産み、育てたいと希望する全ての市民を応援し、子育てに夢を持ち、喜びを実感できるまち」の実現に向け、子育て支援施策を市役所全体で推進するための総合調整を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもはぐみ応援プロジェクトを中心とした子育て支援施策の進捗状況等全体把握や、次年度以降の施策のブラッシュアップ、充実強化のほか、新たな施策への積極的な取り組みにもつながるよう、子どもはぐみ本部会議などの開催により、全庁的な機運の醸成を図ります。</li> <li>・産業観光部とも連携し、商工会を含めた民間事業者へも機運醸成を図ります。</li> </ul>	<p>指標：みんなではぐむ子育てのまちをめざした機運醸成子どもまんなか応援サポーター数</p> <p>目標値：企業・団体数30</p> <p>目標達成により指標変更（令和5年度実績値：R6年度当初子ども家庭センター設置）</p>
<p><b>●森の芸術祭関連事業</b>  <b>障がいへの理解促進【再掲】</b>  障がいについて理解を深め、交流できる場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の芸術祭が障がいや障がい者への理解が深まる機会となるよう、関係団体、事業所等と協力・連携した取り組みを推進します。</li> </ul>	<p>指標：森の芸術祭に出展参加する障がい者関係団体、事業所等の数</p> <p>目標値：1以上</p> <p>新規</p>
<p><b>●生ごみ資源化対策関連事業</b>  各所管会議、イベント等での啓発チラシ配布等による周知・啓発</p>	<p>指標：啓発資料等を配布した回数</p> <p>目標値：10回以上</p> <p>新規</p>
<p><b>1-1 子育て支援の推進</b>  「真庭市に生まれ、真庭市で暮らす全ての子どもたちが、将来にわたって幸福な人生を送ることができるまち」、「子どもを産み、育てたいと希望する全ての市民を応援し、子育てに夢を持ち、喜びを実感できるまち」の実現に向け、子育て支援施策を市役所全体で推進するための総合調整を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもはぐみ応援プロジェクトを中心とした子育て支援施策の進捗状況等全体把握や、次年度以降の施策のブラッシュアップ、充実強化のほか、新たな施策への積極的な取り組みにもつながるよう、子どもはぐみ本部会議などの開催により、全庁的な機運の醸成を図ります。</li> <li>・産業観光部とも連携し、商工会を含めた民間事業者へも機運醸成を図ります。</li> </ul>	<p>指標：みんなではぐむ子育てのまちをめざした機運醸成子どもまんなか応援サポーター数</p> <p>目標値：企業・団体数30</p> <p>目標達成により指標変更（令和5年度実績値：R6年度当初子ども家庭センター設置）</p>

<p><b>1 - 2 切れ目のない相談支援体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに設置する「こども家庭センター」の機能を活かし、一体的な組織として母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を深め、虐待の予防的な対応とともに妊娠期から子育て期にわたって、切れ目のない相談支援体制の強化を図ります。</li> <li>・母子保健コーディネーターを中心に、関係機関・地域のつどいの広場・振興局等との連携を強化するとともに、保健師・助産師と協働して、LINE相談・面談・訪問等による伴走型相談支援の充実を図ります。</li> <li>・妊娠届出時・妊娠8か月時及び出産後等に、保健師、母子保健コーディネーター等が、妊産婦・家族と面談を行い、妊娠・出産・子育ての見通しが持てるように支援するとともに、必要時に相談や各種サービス(産後ケア事業、はぐみサポーター派遣事業等)の利用ができるよう支援を行います。</li> <li>・妊婦、パートナーを対象とした出産・子育て準備教室「まにわパパママクラス」を開催します。パートナーの協力・応援や、妊婦及びパートナーの仲間作りを進め、育児不安の軽減を図ります。</li> <li>・無料通信アプリLINE、市ホームページ等により、子育て情報をタイムリーに発信します。</li> <li>・新たに母子手帳アプリを導入し、プッシュ型の情報発信の充実を図ります。</li> </ul>	<p>指標:①妊娠8か月時の面談・電話件数②パパママクラス参加実人員③LINE相談件数④子育て情報発信数</p>
<p><b>1 - 3 幼児教育・保育環境の整備</b></p> <p>多様な保育ニーズに対応するため、乳幼児期における教育・保育の選択肢を広げ、子どもの育ちを保障していくことができる幼児教育・保育環境の充実に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の園児数の動向、地域の実情等を踏まえ、行政が担っていくべき幼児教育施設の姿の検討を継続していきます。</li> <li>・保育職の確保に向けて、保育士養成校等へのチラシ配布、保育教諭によるPR活動等、積極的なリクルート活動を継続していきます。</li> <li>・保育士養成校との連携強化により、リクルート活動、実習受入れ、新生活支援事業等を通じた保育人材の育成・確保につなげ、より良い保育環境を整えます。</li> <li>・未整備の全10園において保育業務支援システムを導入し、保護者の利便性の向上や保育士等の負担軽減を図ります。</li> </ul>	<p>指標:現在待機児童数</p> <p>目標値:0人</p> <p>(令和5年度実績値:2人)</p>
<p><b>1 - 4 放課後児童クラブの充実</b></p> <p>放課後児童クラブの充実を図るため、支援員の処遇改善を行うクラブを増加させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落合小学校区を対象とした放課後児童クラブの専用施設を学校隣接地に関係部局との協力により新たに整備します。</li> <li>・放課後児童クラブの運営充実に向け、入所等の基準、支援員等の処遇改善などの課題について各クラブとの話し合う場を継続していきます。</li> <li>・勝山小学校の空き教室を改修し、放課後児童クラブの専用スペースが確保できるよう教育委員会等との協力により事業を推進します。</li> </ul>	<p>キャリアアップ処遇改善事業の活用クラブ数</p> <p>目標値:14クラブ</p> <p>(令和5年度実績値:11クラブ)</p>
<p><b>2 - 1 包括的支援体制の構築</b></p> <p>真庭市が目指す共生社会の実現に向けて、市役所内の包括的支援体制のあり方についての検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康福祉部門におけるBPR・共生dX方針」に掲げる、制度・窓口ガイドの導入、支援記録の電子化・一元管理、業務標準化を見越したBPRの実施に取り組む。</li> <li>・真庭市共生社会推進本部に設置された重層的支援体制構築部会において、真庭市にふさわしい「重層的・包括的支援体制」のあり方を継続検討する。</li> </ul>	<p>指標:重層的支援体制検討部会の開催</p> <p>目標値:3回</p> <p>指標変更 (令和5年度実績値:具体的な体制提案は未実施)</p>

<p><b>3-1 心身の健康づくり</b></p> <p><b>【身体健康づくり】</b> 市民の一日当たりの歩数が全国と比較して少ないことから、歩数増加につながる取り組みを積極的に推進し、市民の健康の保持増進、運動習慣の定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所や団体を対象に、歩数アプリを活用してチームで歩数を競い合う取り組みを実施し、運動の習慣化を推進していきます。</li> <li>・スポーツ施設と協働した取組を実施します。</li> <li>・健康に関心の無い方の行動変容の取組や健康行動を定着化させるため、まにこいんアプリのヘルスケア機能の利用について、周知徹底を図るとともに、インセンティブの充実を図ります。</li> </ul> <p><b>【心の健康づくり】</b> 真庭市自殺対策計画に沿って、心の健康づくりを推進し、自殺予防対策に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体を活用して、いのちの大切さや自殺予防等に関する啓発・情報発信を行います。</li> <li>・他機関他職種と連携し、心の健康づくりのためのセミナー等の事業を行います。</li> <li>・地域で心の健康をサポートできる人材の育成を行います。</li> </ul>	<p>指標:①健康サポート事業への参加延べ人数 ②ヘルスケア機能活用しポイントを獲得した実人数 ③心の健康づくり関連事業への参加延べ人数</p> <p>目標値:①750人②500人③350人</p> <p>(令和5年度実績値: ①466人 ②3000人超(2月19日からスタート) ③584人)</p>
<p><b>4-1 障がい者福祉の充実</b></p> <p>障がいのある人や家族が抱える様々な問題を解決する仕組みとして、地域の相談支援体制の充実に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の園、学校等との連携を強化し、発達支援センターの相談支援機能の充実に取り組みます。</li> <li>・発達支援センターの中核的な拠点機能の充実のため、自立支援協議会に設置したワーキンググループ会議等で検討を進めます。</li> <li>・医療的ケア児が地域で必要な支援が受けられるよう自立支援協議会等で支援の連携を図ります。</li> </ul>	<p>指標:①発達支援センターのコーディネーターによる相談受付件数、②中核的拠点機能の充実、医療的ケア児の支援に係る自立支援協議会での検討</p> <p>目標値:①680件以上、②各1回以上</p> <p>(令和5年度実績値:①1153件 ②6回)</p>
<p><b>4-2 障がいへの理解促進</b></p> <p>障がいについて理解を深め、交流できる場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある人の希望や特性に応じた就労機会の拡大を目指し、障がい者の活躍事例の共有や、障がい者、企業、地域等のニーズのマッチングなどを通じ、理解を深め、交流できる場の提供に取り組みます。</li> <li>・ろう者や手話言語に対する理解を広げ、手話言語を使用できる環境づくりに取り組みます。</li> <li>・市職員向け手話講座を職員研修担当部局と連携し開催します。</li> <li>・国等による障害者就労施設等からの物品等の調達に関する法律(障害者優先調達推進法)に基づく市の物品等の調達について、関係部局と連携して促進します。</li> <li>・森の芸術祭が障がいや障がい者への理解が深まる機会となるよう、関係団体、事業所等と協力・連携した取り組みを推進します。</li> </ul>	<p>指標:①事例共有、ニーズマッチング等の場の開催、②商業施設、医療機関、金融機関など企業等での手話講座開催数、③市職員向け手話講座開催数 ④障害者優先調達推進法に基づく物品等の調達件数</p> <p>目標値:①2回以上 ②5回以上 ③5回以上 ④全部局1件以上</p> <p>(令和5年度実績値:①3回②1回③5回④調査中)</p>

<p><b>5 - 1 社会福祉協議会との連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共性と地域の密着度が非常に高い、社会福祉協議会との連携を強化することは、市民の福祉の向上にとって大変重要であり、情報交換会議などを行い連携強化を推進していきます。</li> <li>・地区社協主催の助け合い会議に参加するなど、地域の情報や課題を共有し、それぞれの役割から意見交換を密に行い、協働で地域福祉の向上や地域課題の解決にむけて推進していきます。</li> <li>・まにわ権利擁護ステーションと社会福祉協議会との連携により、日常生活自立支援事業対象者への個別事案の関わりや、成年後見制度の担い手育成などの取り組みを通じて、権利擁護支援体制の構築に努めます。</li> </ul>	<p>指標：情報交換会議 回数</p> <p>目標値：15回</p> <p>(令和5年度実績値：22回)</p>
<p><b>5 - 2 介護予防・認知症予防の推進</b></p> <p>住み慣れた地域で住み続けるためには、自立した生活が必要であることから、介護予防や重度化予防を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療専門職等を地域に派遣して、集いの場でのフレイル予防講座の開催及び生活習慣病の重度化予防等の個別健康相談を行い、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。</li> </ul>	<p>指標：①要支援・要介護認定率</p> <p>目標値：18.3%</p> <p>(令和5年度実績値：18.3%)</p>
<p><b>5 - 3 住民主体の地域の拠点づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防、認知症予防や交流と高齢者の活躍の場である「週1回以上の集いの場」を、市内全域へ広がるよう推進します。</li> <li>・集いの場を広く広報・周知し、多くの市民に活動を知ってもらうよう推進します。</li> <li>・集いの場の立ち上げ、継続には、地域の担い手が重要であり、生活支援コーディネーター等が中心となり支援を推進します。</li> <li>・各地域ごとの「週1回以上の集いの場」の目標数を設定し、推進します。(各振興局と調整)</li> </ul>	<p>指標：週1回以上の集いの場の数(新規)</p> <p>目標値：20会場</p> <p>(令和5年度実績値：15会場)</p>
<p><b>6 - 1 地域包括ケア体制の充実</b></p> <p>いくつになってもいきいき暮らせるまち、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会等と連携して地域課題の把握に努め、地域やさまざまな関係者と協働し、課題に応じた協議体を設置、解決に向けて協議を進め、新しいしくみづくりや、支え合いの地域づくりを推進します。</li> <li>・見守り声かけ訓練等の取り組みを通じて地域住民や関係団体等と連携し、地域の見守り活動を進めます。</li> <li>・生活の困りごとを地域住民相互で支える活動を支援する「ささえあい訪問事業」の実施団体増に取り組み、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住民主体による助け合いの地域づくりを推進します。</li> </ul>	<p>指標：①生活支援協議体数②見守り声かけ訓練実施回数③ささえあい訪問実施団体数</p> <p>目標値：①10協議体②5回③3団体</p> <p>(令和5年度実績値：①7協議体、②5回、③1団体)</p>
<p><b>6 - 2 高齢者等の権利擁護体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まにわ権利擁護ステーション」で、①広報機能、②相談機能、③受任調整機能、④後見人支援機能を担うことにより、認知機能や判断機能が低下した方等の権利擁護や、成年後見制度等の適正な制度につなげるために、健康福祉部内のみならず、関係部局と連携し推進していきます。</li> <li>・権利擁護支援の地域連携ネットワークとして、真庭市権利擁護推進協議会、及び相談、助言機関として、権利擁護支援検討会議を設置するなど、法人後見でもある社会福祉協議会を始め、弁護士、司法書士、社会福祉士、NPO等、さまざまな団体と連携し、推進していきます。</li> <li>・市民後見人の育成・支援等を、岡山県等と連携し、推進していきます。</li> </ul>	<p>指標：①支援検討会議開催数、②推進協議会開催数</p> <p>目標値：①11回、②3回</p> <p>(令和5年度実績値：①11回②3回)</p>